

令和6年度 愛知支部事業計画の策定について

愛知支部の現状評価と課題について（医療費）

医療費情報

診療種別	年度	愛知支部 1人当たり医療費 (年齢調整後)	全国平均
総計	2020	172,282	174,232
	2021	187,613	188,440
	2022	201,235	201,858
入院	2020	44,540	49,178
	2021	47,519	52,272
	2022	48,360	53,460
入院外	2020	105,296	104,386
	2021	116,453	114,519
	2022	128,457	126,099
歯科	2020	22,446	20,668
	2021	23,642	21,648
	2022	24,418	22,299

※R5.10.11時点(Tableau)

医療費の特徴

- ・「入院外」、「歯科」が全国平均より高い。

医療費の地域差指数（※）に及ぼす影響度について

- ・疾病分類別にみると「入院外」は、「皮膚及び皮下組織の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「入院」は、「眼及び付属器の疾患」が高く、「業態別」にみると、「機械機器製造業」、「卸売業」の影響度が高い。

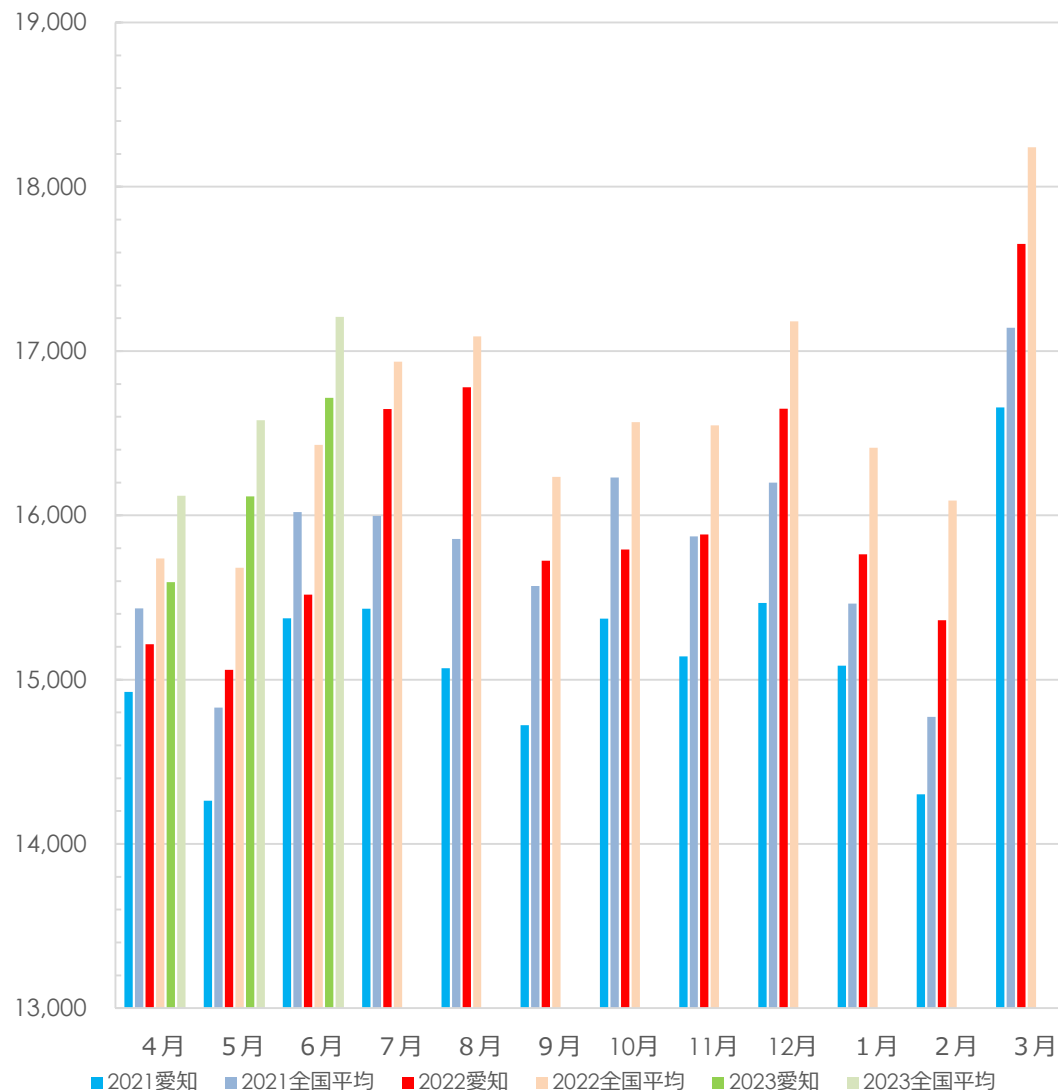
（※）地域差指数

医療費の地域差を表す指標として、1人当たり医療費について、人口の年齢構成の相違分を補正し、全国平均を1として指数化したもの。

これまでの取り組み

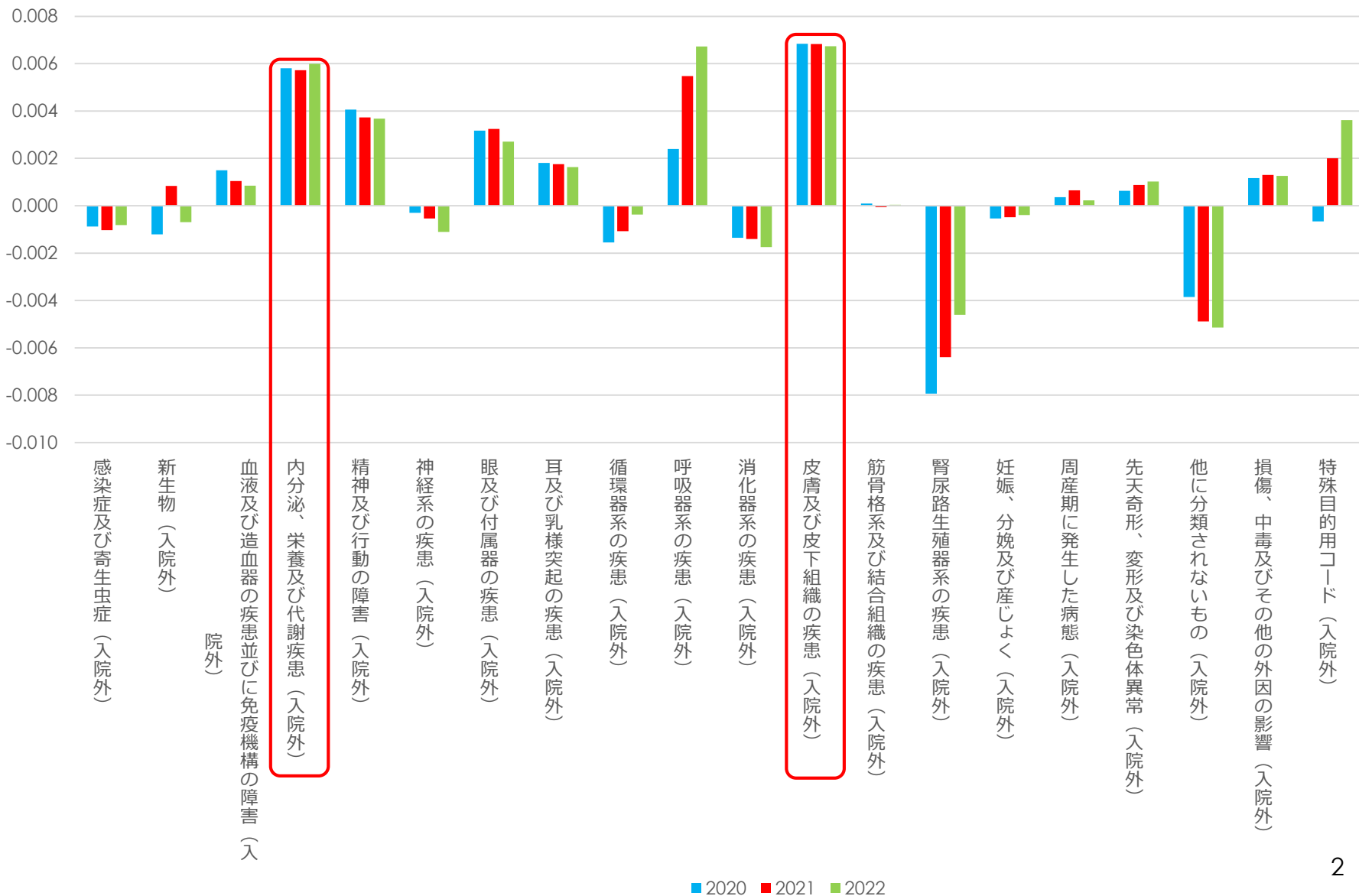
- ・ジェネリック医薬品の使用促進
- ・重症化予防の推進（メタボ動画作成）
- ・コラボヘルスの推進
(ヘルスアップ通信簿の提供、健康セミナーの開催)
- ・広報の推進（上手な医療のかかり方）

協会けんぽ 1人当たり医療費（平均）



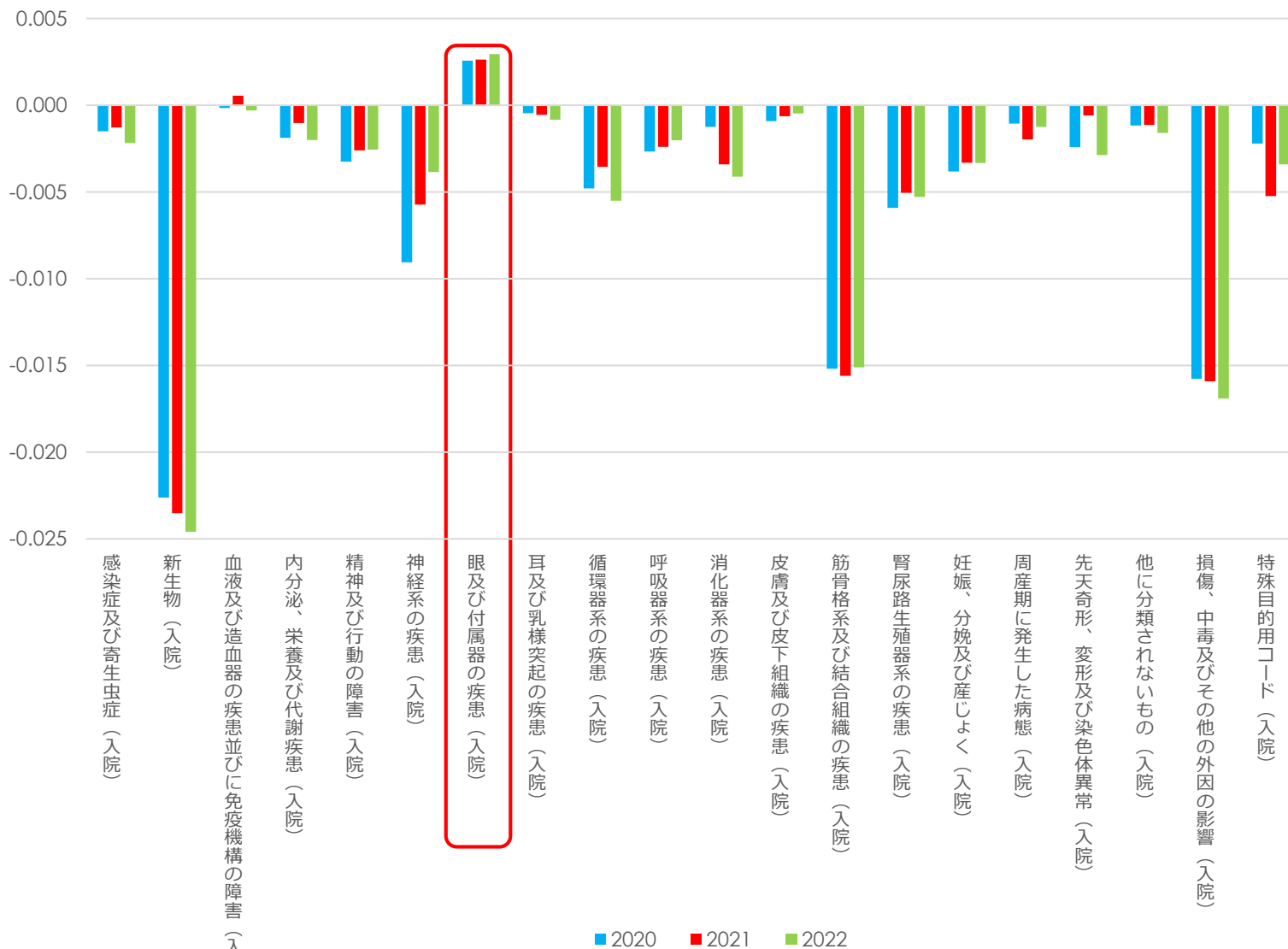
疾病分類別加入者一人当たり 入院外 医療費の地域差指数に及ぼす影響度（愛知支部）

○「皮膚及び皮下組織の疾患」及び「内分泌、栄養及び代謝疾患」、2022年(R4)は、「呼吸器系の疾患」が特に高い。



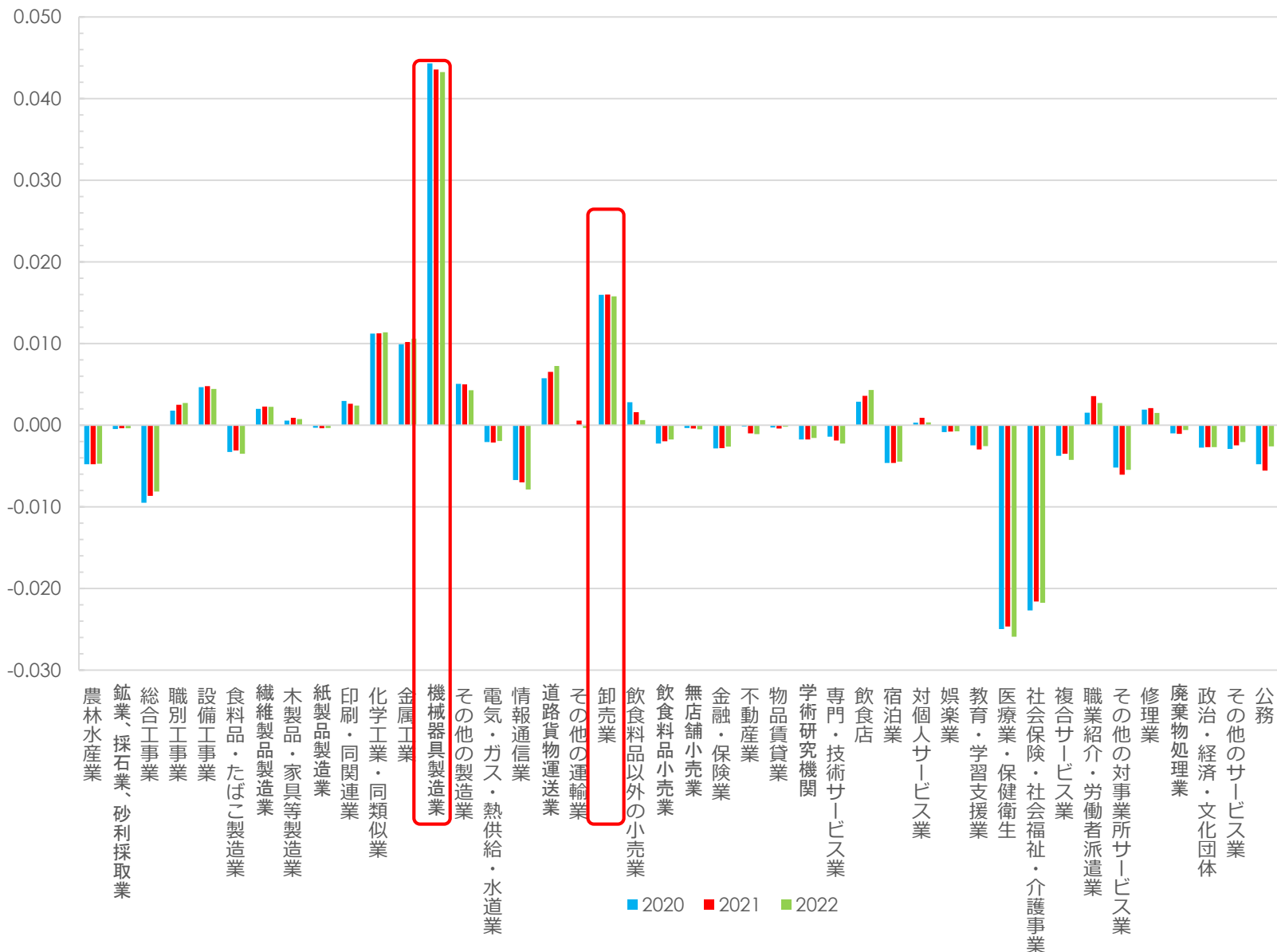
疾病分類別加入者一人当たり 入院 医療費の地域差指数に及ぼす影響度（愛知支部）

○「眼及び付属器の疾患」が高い。



業態別被保険者一人当たり 入院外 医療費の地域差指数に及ぼす影響度 (愛知支部)

○「機械器具製造業」及び「卸売業」が高い。



業態別被保険者一人当たり 入院 医療費の地域差指数に及ぼす影響度（愛知支部）

○「機械器具製造業」及び「卸売業」が高い。



令和5年度 愛知支部の現状評価と課題について（健診）

健診情報

年度	生活習慣病 予防健診受診率	KPI	事業者健診 受診率	KPI	特定健診 受診率	KPI
2020	46.3%	48.8%	10.1%	9.1%	25.2%	31.6%
2021	48.2%	54.0%	11.4%	10.2%	27.5%	36.2%
2022	51.0%	57.0%	12.4%	11.6%	29.5%	36.3%

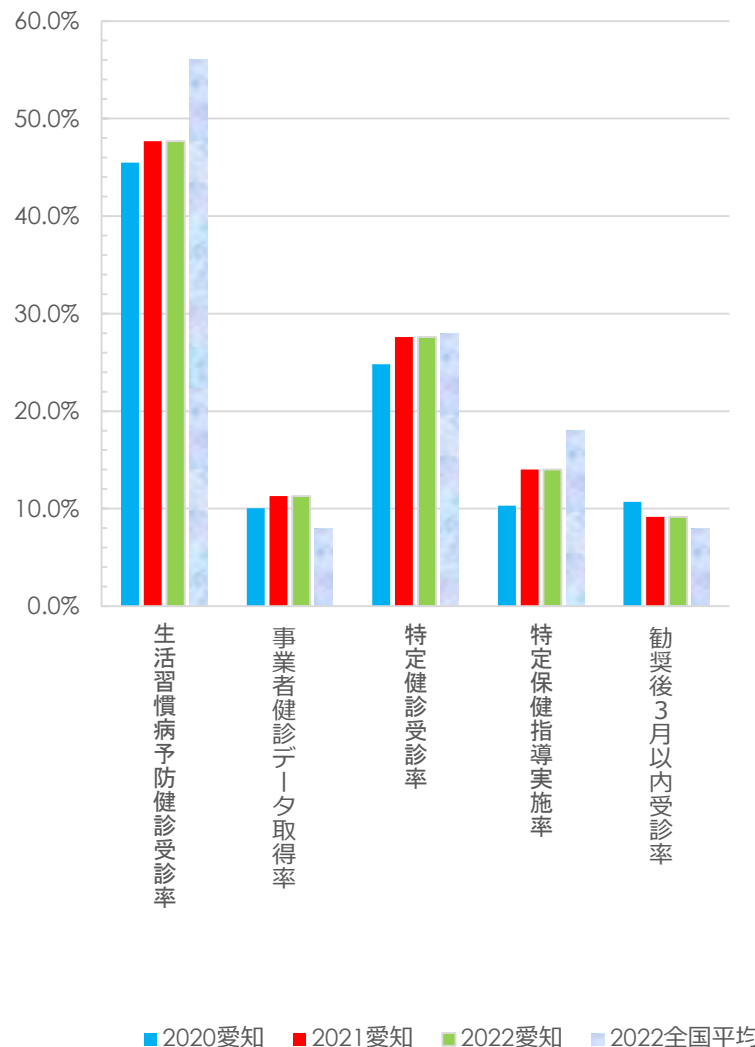
年度	特定保健指導 実施率 (被保険者)	KPI	勤奨後3か月 以内受診率	KPI	コラボヘルス 宣言事業所数	KPI
2020	10.3%	16.8%	10.7%	12.9%	4,388	-
2021	14.0%	21.7%	9.2%	11.8%	6,272	5,400
2022	13.7%	28.8%	8.4%	12.4%	7,623	7,000

健診結果・問診結果の特徴

- 「メタボリスク予備軍」「腹囲」「中性脂肪」「HDLコレステロール」「体重10Kg以上増加者」等、メタボリスクの保有率が高い。

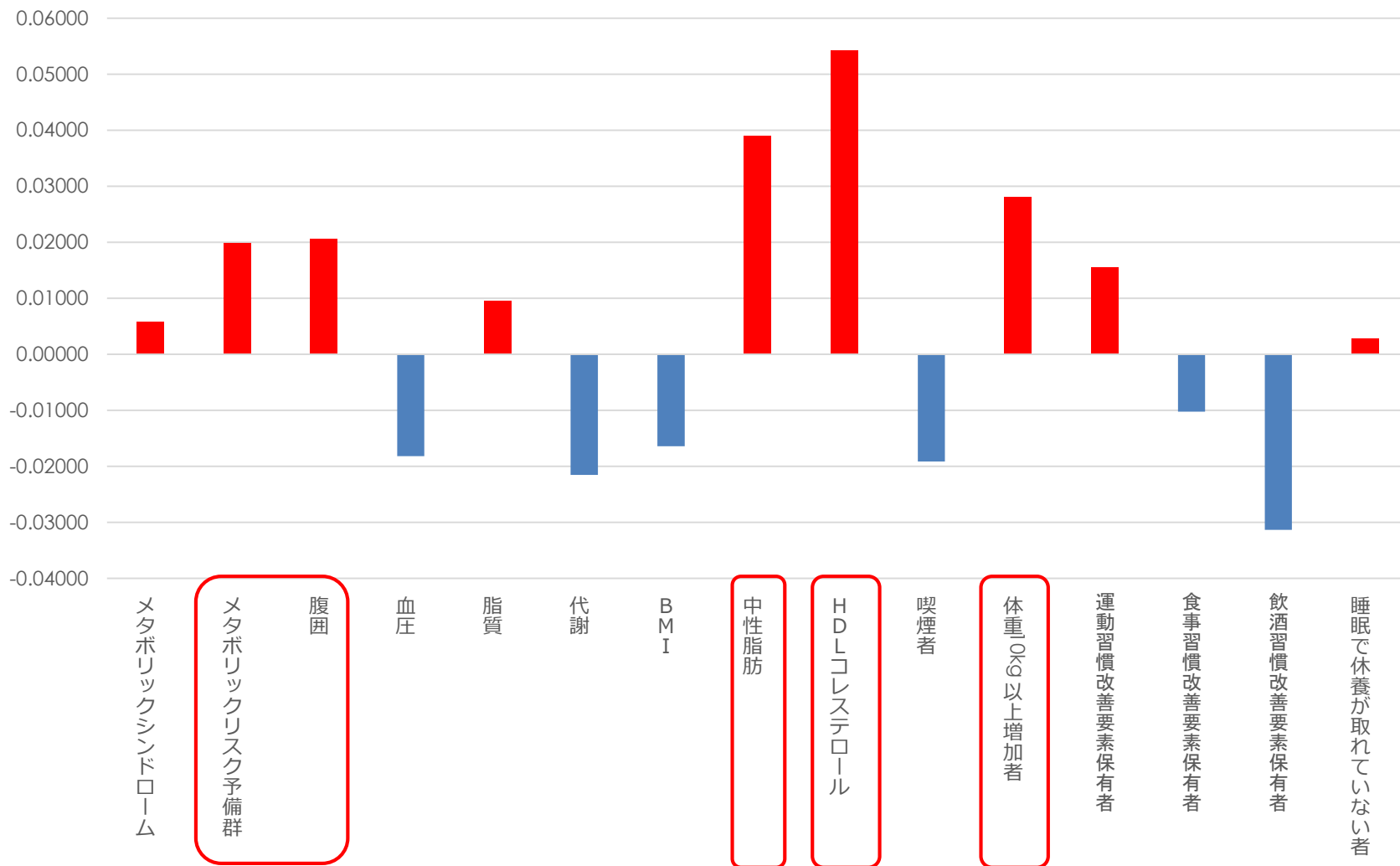
これまでの取り組み

- ・特定健診・特定保健指導の推進
- ・未治療者への早期受診勧奨
- ・ご家族様も健診プロジェクト
- ・健診ポスターコンクール



問診・健診結果の地域差指数に及ぼす影響度（愛知支部）

メタボ予備軍、腹囲、中性脂肪、HDLコレステロール、体重10Kg以上増加者が高い。



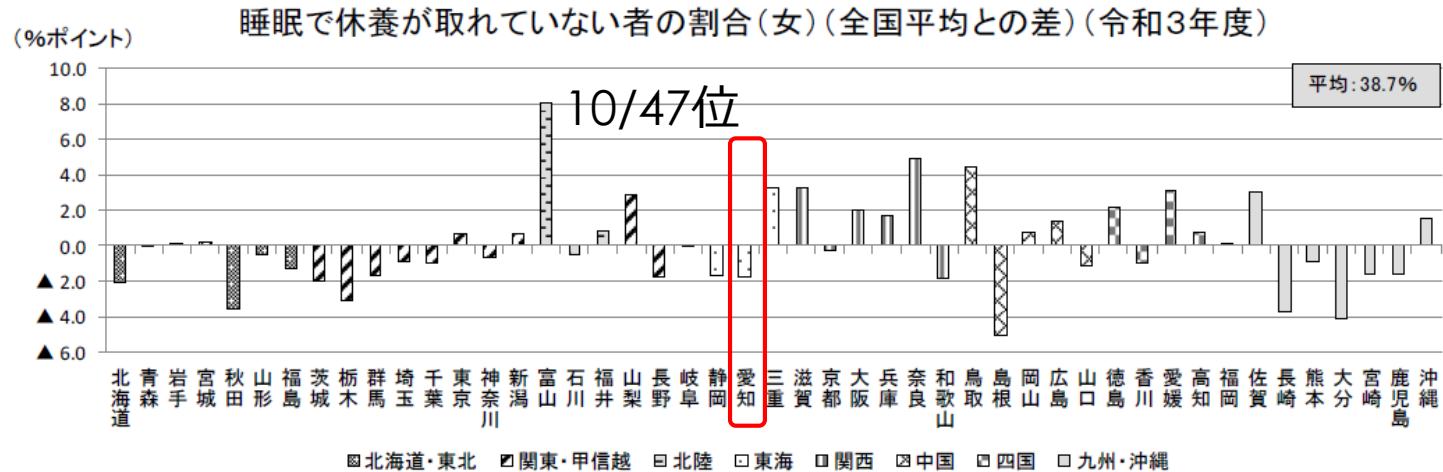
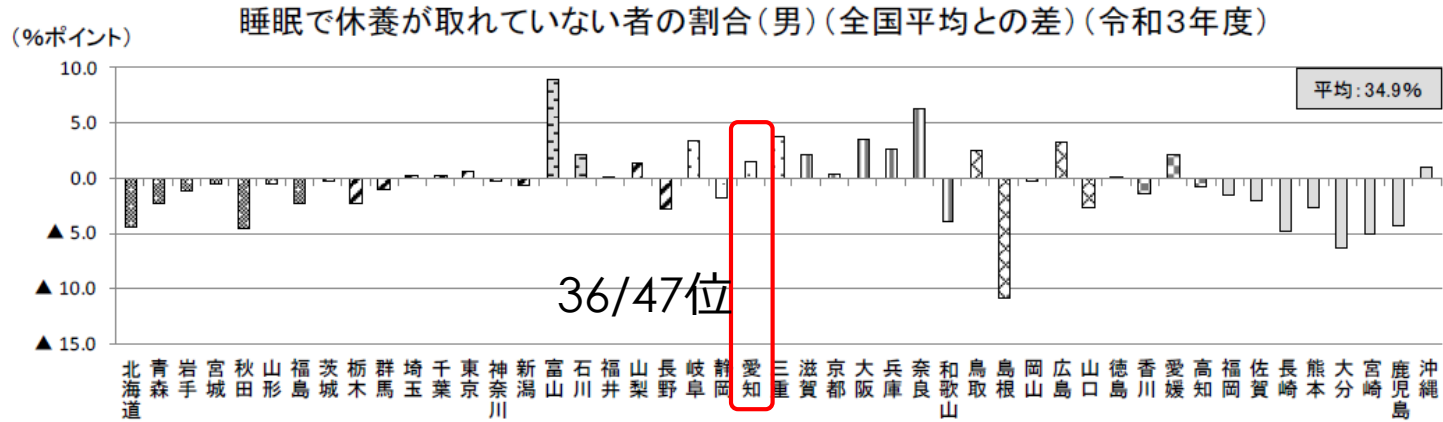
業態別 睡眠で休養がとれていない者の割合 (愛知支部)

○「機械器具製造業」及び「卸売業」が高い。



睡眠で休養が取れていない者の割合

睡眠で休養が取れていない者の割合は、男性で富山県、奈良県、三重県の順に高く、女性で富山県、奈良県、鳥取県の順に高い。



愛知支部の課題を見据えた事業（案）

1. 医療費の特徴

- ・医療費の地域差指数に及ぼす影響度について、疾病分類別にみると「入院外」は、「皮膚及び皮下組織の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「入院」は、「眼及び付属器の疾患」が高く、「業態別」にみると「機械機器製造業」、「卸売業」の影響度が高い。

2. 健診・問診結果の特徴

- ・「メタボリスク予備軍」・「腹囲」・「中性脂肪」・「HDLコレステロール」・「体重10Kg以上増加者」等、メタボリスクの保有率が全国平均に比べて高い。また、令和3年度のデータでは、男性は睡眠で休養がとれていない者の割合が高い。

令和6年度の取組み（案）

・特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上

健診機関の増加、健診機関、関係団体等と連携した受診勧奨等

・特定保健指導の実施率及び質の向上

健診当日の保健指導が実施できる契約機関の増大、ICT等を活用した保健指導の実施等

・重症化予防対策の推進

健診機関や外部委託を活用した未治療者に対する受診勧奨等

・健康宣言事業所の拡大と質の向上

関係団体等との連携強化、事業所カルテ（ヘルスアップ通信簿）の活用等

・メタボの予防・解消を目的とした啓発動画の活用

令和5年度に作成したYouTube動画を使った広報の実施

・「上手な医療のかかり方」の啓発

各種広報ツールによる広報を継続的に実施

・睡眠の質の向上と健康増進への啓発

睡眠をテーマにした広報媒体の作成、各種広報ツールによる情報発信を行う